

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【景観法に係る届出の遅延について】 増設雑固体廃棄物焼却炉建屋新設工事の景観法に係る届出書の内容を確認しようとしたところ、事前協議手続きの後、届出書の未提出が判明。 着手後となったが、届出書を提出。	G II
2	【使用前検査申請書2件における誤記について】 Bエリアタンク設備とB南エリアタンク設備に係る使用前検査申請書において実施計画認可年月日を誤って申請。 実施計画の変更認可日を反映していなかったもの。 使用前検査変更申請書を提出。	G II
3	【既設多核種除去装置のpH計取付部からのにじみについて】 既設多核種除去装置(C)バッチ処理タンク(1)のpH計取付部からのにじみを確認。 pH計の前後弁を閉止し、にじみの停止を確認。 原因を調査予定。	G III
4	【2号機作業用の遠隔操作重機クローラ部の亀裂について】 2号機オペフロ内作業用の遠隔操作重機の日常点検においてクローラ部の亀裂を確認。 両側のクローラ部を交換。 原因は、稼働による劣化と推定。	G III